ホームルームより

先月のホームルームでも言いましたが、徳島県の学力は皆さんの予想以上に低いです。去年のセンター試験平均点は四国では断トツの最下位。これは定位置。全国では下から3番目。毎年のことですが、全国の強豪との熾烈な最下位争いを繰り広げています。何是このような結果なのか、原因は様々あると思います。しかし、この原因にふれると様々な所からお叱りがありそうなので、ふれません。ただ原因はありますと言うより原因がなく最下位争いの方が悲しいです。

そんな徳島ですが、高1・2生と話をしていると、皆簡単に東大・京大・阪大・神大・医学部と口にします。ならばと、それに見合った勉強量を提示すると、ほとんどの生徒は言います。「そんなに勉強できません。」徳島から難関大学へ進学するのは各学校上位の数%です。県外の医学部など徳島から片手で数えられるほどです。それでも彼等は思っています。「頑張るから大丈夫。」このような生徒は非常に多いです。

逆に受かる生徒は、本当に頑張ります。誰よりも頑張ります。部活があろうが無かろうが、努力量は別格です。時間が無いから隙間時間にコツコツ勉強。努力が全てではないですが、根本的な努力量が違います。さらに付け加えると、中学時代から差が付いていることが多いです。中・高と第一ゼミに通った生徒を見ると、東大・京大・医学部に進学した生徒の9割以上が中学時代から、高校内容に取り組んでいます。ライバルは徳島にはいません。県外の生徒です。そのような生徒と勝負するのであれば、スピードも必然的に上がります。

大学受験はまだ先だと思っている人へ。大学受験は既に始まり、既に時間切れの可能性もありますよ。高校生にもなってないのに時間切れ・・・それが大学受験です。

(齋藤先生)

大学説明会が実施されました

12月14日に立命館大学の入試広報課の方に来ていただき、説明会を実施しました。立命館大学を志望している生徒はもちろん、まだ志望校や志望学部に悩んでいる生徒も参加してお話を聞きました。

立命館大学の入試について日程や試験方式についての話や昨年に比べてボーダーラインが上がりそうな学部、下がりそうな学部なども教えてもらいました。また、大学生活や留学、就職活動についてもお話をしていただきました。

その他の内容についても少しご紹介します。

・大学入試はそれぞれ大学によって様々な方法があり、傾向が違うため、いかに対策をするかが重要である。

・理系だから国語はしなくてもいい、文系だから数学はやらないというのではなく、理系、文系に関係なく、高校の勉強はしっかりしておく。

・高1生はいろんな大学について見たり、聞いたり、オープンキャンパスに参加するなどして、たくさんのことを知ってほしい。

・高2生は次の年から入試が変わるため特に「現役合格」を意識する必要がある。偏差値や判定に惑わされない。目標に向かって早くスタートする。

・高3生は受験に向けての勉強のやり方や注意点など、合格するためにはどういった準備なのか。

・大学に入学して勉強している自分をイメージして頑張ること、最後は絶対にその大学に行きたいという気持ちが大切である。

・大学入試に合格することや大学に入学することがゴールではなく、入学してからどう過ごすかが大事。

立命館大学に限ったことでなく、どの大学を目指している生徒にも共通するお話が多くありました。今後もこういった機会を作っていきますので積極的に参加してくださいね。

(河野先生)

受験まであとわずか

1月となり、いよいよセンター試験が行われます。この本番に向けて、たくさんの努力を積み重ねてきたと思います。今からセンター本番の1月19日20日まで、本当に苦しい時期だと思いますが、あともう一息です。

さて毎年のことなのですが、私は受験当日に「頑張れ」という言葉をかけるのはあまり好きではありません。受験に限らず勝負事は何でもあてはまることですが、頑張らなければならないのは、本番までの準備です。受験当日に頑張るのは、それは当たり前のことです。残り時間はあとわずかですが、本当に全ての準備は万端ですか?やり残していることは、きっとまだまだたくさんあるはずです。全てをやりきるのは難しいですが、各自がきちんと優先順位を決めて、残された課題に取り組んでください。

受験当日はあまり気負わないようにしてください。ごくたまに運良く自分の実力以上の点数を取れる人はいますが、ほとんどの人が120%の力を本番で出せることは残念ながらほぼありません。要は自分の実力以上の問題にあまりチャレンジはせず、できる問題を確実に取れるように心がけてください。例えば全ての教科の目標点が100点の人はいないはず。目標点が70点の人は逆に言えば30点分は間違っていいんです。あまり高望みして難問にチャレンジすることはせず、70点を取れるレベルの問題に全力を尽くすように心がけてください。

大事なことはもう一つ。センター試験で結果が決まるわけではありません。難関大では特にそうなのですが、あくまでも勝負は2月に行われる二次試験です。もしセンター試験の結果が良くなくても、それにくよくよせずに早々に受験校を決めて、一日でも早く二次試験の対策に切り替えてください。

それは皆さん、繰り返しになりますが、受験本番までのラストスパート頑張ってください。精一杯の君になってください。

(小倉先生)

慌てず急ぐ

先日、センター試験前の最終模試が終わりました。模試の結果が良かった人も、そうでない人も、この模試で合否が決まるわけではありません。あくまでも模試は模試。この結果から反省点を導き出し、まもなく迎える受験本番に活かしていくようにして下さい。

本番では模試と違って、相当なプレッシャーがかかってきます。そのため、分からない問題が出てきたり、やったはずの問題なのに解き方が思い出せなかったりすると、焦ってパニックに陥ってしまう事があります。そこで、必要以上の時間を使ってしまい、「他の問題でカバーしなければ」「急がなければ」と気持ちだけがはやってしまい、時間に追われて冷静に問題に向かうことが出来ずに、誤字、脱字、計算ミスなど、負の連鎖につながります。

本番では全てが上手くいくなんてことは極めて稀で、大なり小なりトラブルに見舞われるものです。そんなときに頭の中で「どうしよう、どうしよう」と唱えていても、問題が解けるわけでもなく、時間も過ぎていく一方です。ですから、まずは慌てないようにすることが大切です。一度大きく深呼吸でもして、残りの問題を眺めて、時間配分の組み直しをするのも良いでしょう。その瞬間のタイムロスはありますが、そのくらい冷静に臨む方が、慌てて問題を解くよりも結果として、速くかつ正確に解けるでしょう。

受験本番までの残り期間、先日の模試や過去問などを活用して、1問にかけられる時間を意識しておきましょう。そして練習では、設定した時間より1割短い時間で解く練習をしておきましょう。そうすることで、不測の事態に陥っても、慌てず急ぐことが出来るようになりますよ。

(姫野先生)

重要な価値

一年、三百六十五日、日々の生活の中で、やるべきことが次々に湧いてきます。一つ仕上げればまた一つ、その次も仕上げればまた一つ。仕上げても、しあげても、仕上げた分だけやるべきことが現れます。きりがないですね。もういい加減にしてほしいと思っても、これから先もずっとこの状態が続いていくのでしょう。ならば、湧いてくる仕事を予測して余裕をもって準備することが大切になってきます。仕上げることによって自分も成長していきたいし、他人にも貢献したいですよね。

7つの習慣の著者であるスティーブン・R・コヴィー博士は、タイム・マネジメントについて次のように語ります。第1領域:重要で緊急なこと。第2領域:重要で緊急でないもの。第3領域:重要ではないけれど、緊急なもの。第4領域:重要でなく緊急でないもの。その中で、第2領域に多くの時間を割くことが大事だと言っています。

それを実践するためには、自分にとって重要なことがなんであるかを常に意識しておかないといけないですね。将来自分は○○がしたい。そのために△△大学を目指す。だから主要5科目は95点以上を取る。そのためには日々の勉強習慣をこのように変える。今苦手な数学の図形問題に毎日1時間使って、3月までにはこのテキストの80ページまで仕上げる。第2領域を意識すると無為に過ごす時間も減らせて有意義なタイム・マネジメントができます。

自分にとって重要なこと。それは何ですか?笑顔、思いやり、真善美、愛、幸せ、フォー・ユーの実行、さまざまな価値観があります。一年の計は元旦にあり。自分の重要な価値に向かって、二〇一九年・新年も精いっぱいの君になれ!!

(藤枝先生)

2019年12～1月の予定

第一ゼミ・四谷大塚

1月　2日(水)正月合宿(中3生)、正月カウントダウン特訓(小6生) 1日目
3日(木)正月合宿(中3生)、正月カウントダウン特訓(小6生) 2日目
5日(土)冬期講習会　最終日
7日(月)～　3学期　通常授業スタート(四谷、ゼミ)
※中学受験対策クラスもスタート
13日(日)～　中3生高校入試対策　日曜講座スタート(ゼミ)
20日(日)～　新中1生中学準備　日曜講座スタート(ゼミ)
14日(月)新年度保護者説明会(ゼミ、四谷)　13:00～14:30
ハイブリッドコース選抜テスト(現小6生(新中1))
12:30～14:30
26日(土)小3生(新小4生)公開組分けテスト(四谷)
27日(日)小4生(新小5生)・小5生(新小6生)
公開組分けテスト(四谷)

東進衛星予備校

12月31日(月)～1月3日(木)校舎開校時間　9:00～17:00
1月19日(土)センター試験、センター同日体験受験
20日(日)センター試験、センター同日体験受験
26日(土)東大・京大本番レベル模試
27日(日)東大・京大本番レベル模試
難関大・有名大本番レベル記述模試

《《ブログ・アーカイブから》》

四谷大塚NET徳島駅前校
2018.12.15のブログより

「紙を大切に」でしたが、紙話が今日の議題は笑いパみのい話が
がたいしっとで　案線も心るる取徒ずプこをみて答えそいしたが何
・だ子たた確す第内したにことりがっラと心んいア小をっり、生が
・、供場形信が一をすち対と先上疑問高学年になったのクリいえみプ1みて徒始めて
・こに合をし、ぜしぎにしを生げ問学習ようなことも食物連鎖パみ生ま
・れな、正て小ミまて渡て単はに思っ授業から習ようなことも食物連鎖パみ生ま
・。はる私確いのすす失に舵に方針でて授業から習ようなことも食物連鎖パみ生ま
私この にまかリ子礼教取針でて授業から習ようなことも食物連鎖パみ生ま
だと経こすら迷教えりでて授業から習ようなことも食物連鎖パみ生ま
けが験なる子だえ役す授業から習ようなことも食物連鎖パみ生ま
の多で小のリ にとる す。業から習ようなことも食物連鎖パみ生ま
経いはこ1勉ク なし感 今日議題に上がった展開に必なず生ま
験よ勉と強ス じて専念日議題に上がった展開に必なず生ま
部則う強を小の ているで子供のっ好奇心なず生ま
編かなに求2礎か のにすで主導権をの子ど生ま
集も気興めのになり なるこ導権をの子ど生ま
しが味るうなっ ったて権をの子ど生ま
まれしが授ちっユニ 時だけ権をの子ど生ま
ましたが持業にて ニー だけ権をの子ど生ま
ました)せすてに決 ク 道脱権をの子ど生ま

「紙を大切に」でしたが、紙を質問するところからお話が今日の議題は「紙を大切に」でしたが、紙
笑いパみのい話が
答えそいしたが何
ンしえ先生が後日の議題は「紙を大切に」でしたが、紙
ーが先生な生が後日の議題は「紙を大切に」でしたが、紙
ーがで木を徒始めて木を質問するところからお話が
「先生は知っているかを質問するところからお話が
パ当てのほっ生が後日の議題は「紙を大切に」でしたが、紙
○○ーましドたこ徒始めて木を質問するところからお話が
○○ーたねロ知っているかを質問するところからお話が
ーとヒて。ドてる生が後日の議題は「紙を大切に」でしたが、紙